

生物工学国際交流センター (ICBiotec)

海外フィールドスタディ (S)

平成 30 年度 (2018 年度) 募集要項

1. 授業の目的

本科目「海外フィールドスタディ S」は、学生が海外でフィールドスタディに参加し、実習を行うことにより、各学生が海外において自らの専門性を発揮するための基礎的な力を養うことを目的とします。「海外フィールドスタディ S」は、準備から事後学習までの学習プロセスを 学生が主体的にデザインし実行することを支援するとともに、調整力、コミュニケーション力、柔軟性といった、大学院修了後にプロフェッショナルとして自主的に活動し、また他者や他機関と協働するために必要な資質を養うことを目的とし、多角的視点を持って社会を批判的に思考し行動する学生を育成しようとするものです。また、「海外フィールドスタディ S」は、あらかじめ対象として想定している学生の専門分野や志向もコースごとに限定し、学生が実習後の実際の研究の展開やキャリア形成の上で必要と思われる特定のテーマに絞って実習をおこなうことに特徴があります。さらに、同じ分野に学ぶ海外の学生との協働や交流も重要な目的となっています。

2. 実習地域

タイ

3. 履修条件・受講条件

(1) 選考と履修 本科目では、選考を経て参加が決定した者が履修登録、実習参加を行うものとします。

- 3 月 23 日 (金) 「海外フィールドスタディ (S) 募集要項」を生物工学国際交流センターウェブサイトにて公開。
履修申込書フォーマットを同上ウェブサイトにて掲載、応募受付開始。
※必要事項を入力したデータを印刷し、指導教員の印鑑をもらったうえで原本を生物工学国際交流センターへ提出。**TOEIC/TOEFL スコア表、学部最終学年、もしくは博士前期課程 1 年時の成績証明書**を合わせて提出すること。
- 4 月上旬ごろ 海外フィールドスタディ (S) 説明会 (吹田)
生物工学国際交流センター5F セミナー室にて
- 4 月 25 日 (水) 「海外フィールドスタディ (S) 履修申込書」締切り
※同日 17 時までに、指導教員押印済みの原本提出を完了すること。
- 5 月 1 日 (火) 履修決定者に連絡
※履修が決定した者は、生物工学国際交流センター事務室が履修登録の手続きをします。

※所属研究科によっては、単位登録に上限を設けているところがありますので、ご注意ください。

※上記日程は予定であり、都合により変更となる場合があります。

(2) 参加費用と助成について

本科目の海外実習については、費用の一部補助があります。詳しくは 4 月上旬開催予定の説明会で説明します。助成で賄われない必要経費は自己負担となります。助成額を加味しない必要経費額は次のとおりです。これらの額から、助成額を除いた額が実際に自己負担となる金額の目安です。

タイ 200,000 円

※ただし諸事情により上下する可能性あり。

なお、国費留学生など外国籍参加者の場合は JASSO よりの助成が受けられませんので、全額自己負担となります。

4. 定数

25 名

5. 講義内容（事前・事後学習／プログラム実施国・地域／実施時期・期間）※変更の可能性あり

【到達目標】

- (1) 海外フィールドスタディの訪問先に関する情報を自ら収集し、課題を発見できるようになる。
- (2) 海外フィールドスタディの内容を検討、準備できるようになる。
- (3) 海外フィールドスタディ活動において、実践的な活動に積極的に参加することができる。
- (4) 海外において現地の人々や専門分野の異なる学生と経験を共有することにより、諸現象に対する多角的な視点を持ちながら協働できるようになる。
- (5) 海外での経験から学んだことをもとに、自身の専門分野における研究やその後のキャリアプランにどのように活かすか思考できるようになる。

【本科目の内容】

●スケジュール

5月中旬	オリエンテーション（合同）
6月30日	授業 「フィールドワークにおけるリスク管理」
5月～7月	事前学習
7月初旬	研究計画事前発表会
7月下旬	渡航直前オリエンテーション

●テーマ

・タイ (2018 年 8 月 5 日から 2018 年 9 月 10 日、37 日間)

「生物資源と環境」本プログラムは、「生物資源と環境」をテーマとして、関連分野を専攻する日本およびタイの学生を大阪大学および交流先 4 大学との間で相互に派遣、また受入れし、ラボおよびフィールドでの実習を中心として研究能力の向上を図り、生物資源の問題を共同で協議して相互理解を深めるものです。

本プログラムは、大阪大学生物工学国際交流センター (ICBiotech) と大阪大学工学研究科が共同して実施し、タイの 4 つの大学からなるコンソーシアム (マヒドン大、KMUTT、カセサート大、チュラロンコン大) と連携して構築・実施する海外ラボ・スタディ・プログラムです。

対象は「生物資源と環境」に関連するテーマについて学ぶ博士前期及び後期課程の学生とします。生物多様性とバイオテクノロジーの研修に興味のある方を歓迎します。

●事前学習 (授業時間および実習出発前) 海外フィールドスタディの訪問先の歴史や地域事情、テーマについて学習します。また、フィールドワークの実践と倫理ならびにリスク管理に関する講義では、訪問先での行動に関する留意事項や安全衛生についての指導を行います。

●現地実習 (8 月~9 月) 現地の大学で、自分の研究計画に基づき、ラボでの実習を中心に研修を行います。実習期間中は、日々の学習活動の振り返りを参加者間で行うとともに、研究の成果を発表します。

●事後学習 (帰国後) 事前学習と現地実習を踏まえ、レポートの提出や報告会などの場で発表を行うことによって研究の総括を行います。

6. 成績評価

・授業への参加 (出席、提出物など)	30 点
・海外フィールドスタディへの参加 (報告、研究、提出物など)	50 点
・海外フィールドスタディ実施報告	20 点

7. 参加申し込みについて

- 指定のウェブサイトから履修申込書をダウンロード後、必要事項を入力した申込書を印刷し、指導教員の印鑑をもらったうえで原本を生物工学国際交流センターへ提出してください。
- **TOEIC/TOEFL スコア表、学部最終学年、もしくは博士前期課程 1 年時の成績証明書を合わせて提出してください。**
- 締切日 2018 年 4 月 25 日 (水) 17 時

8. その他

宿舎の手配、部屋割り、また派遣研究室の割り当ては、参加者の希望聴取を行いつつも、参加者全員の希望に添えないケースもございますが、ご了承いただけますと幸いです。

9. 問い合わせ メールアドレス

fujiyama[at]icb.osaka-u.ac.jp

[at]はアットマークに変換してください。

件名は「海外フィールドスタディ (S) 問い合わせ」としてください。

履修申込データ入力時の参考情報

【自由回答項目】

1. 志望動機（300 字以内）
2. 自己の学習目標（現地で何を学びたいかを具体的にお書きください）（300 字以内）
3. 自己の研究分野とどのような関連性を持つか（300 字以内）
4. 自己の目指すキャリアや将来像とどのような関連性を持つか（300 字以内）
5. TOEIC/ TOEFL などの語学能力を示すスコア（100 字以内）